

## 平成29年度 横浜支部 事業報告書

(一社)海洋会 横浜支部

横浜支部の事業としては、

- 1、開催した会議等
- 2、実施した主要事業とその概要(講演会、海事思想普及及び他団体との共催事業等)
- 3、会館運営及びその他 について、実施した。

## 1、横浜支部に於いて開催した会議、会合

会 名	開催日	出席会員	備 考(来賓、同行者等)
(1)支部監査 (1回)	4月4日	2名	監事1名、事務室長
(2)定期総会 (1回)	5月9日	27名	委任状63名
(3)春季懇親会 (1回)	5月9日	27名	関係者 8名(来賓6名、同行者2名)
(4)秋季懇親会 (1回)	10月10日	15名	関係者 8名(来賓5名、同行者3名)
(5)常任委員会 (6回)	4月12日、6月14日、9月13日 11月8日、2月14日、3月14日	42名	
(6)支部委員会 (6回)	4月12日、6月14日、9月13日 11月8日、2月14日、3月14日	124名	
(7)会館運営委員会 (常任委員会と合同)	4月12日、6月14日、9月13日 11月8日、2月14日、3月14日	24名	
(8)忘年会 (1回)	12月13日	16名	関係者 7名(来賓7名、同行者1名)
(9)賀詞交換会 (1回)	1月10日	29名	関係者 8名(来賓6名、同行者2名)
合 計	18回	306名	関係者 計29名

## 2、横浜支部に於いて実施した主要事業とその概要(講演会、研修、調査研究、海事思想普及、他団体との共催事業等)

支援事業名 及び 活動	実施日又は回数	参加者数	備 考
(1)『海の日』前夜祭の共催	7月14日	103名	三団体(海洋会、若葉会、海福協)の共催
(2)講演会の開催	4/12, 6/14, 9/13, 11/8	162名	4/11(32), 6/13(20), 9/12(24), 11/14(24) 2/14(25)
4月講演会(4/11) TN9 岸本宗久氏			海上衝突予防法の灯火の"なぜ"について
6月講演会(6/13) TN19 広浜隆志氏			鍼灸師船長
9月講演会(9/12) TN16 増田 恵氏			マイクロプラスチック問題について
11月講演会(11/14) 岡田豪三氏			海に落ちる氷河を求めて・南東アラスカクルージング
2月講演会(2/14) TE15 天野俊昭氏			マリンエンジニアによる企業再生
(3)浜水会の支援、協力	火・BBQ大会の予定だったが、		神奈川新聞の花火大会が中止となり、休止
(4)練習船遠洋航海出航式への参加	12月9日	10名	海技教育機構の皆様と一緒に送迎
(5)マリクラブ納涼会の支援	8月22日	60名	関係団体等との交流、懇親
(6)マリクラブ X'mas パーティーの支援	12月14日	70名	"
(7)ビーチクリーニング活動(春)の支援、協力	4月23日	20名	学生との懇親を含む支部会員の活動
(8)横浜港カッターレースの支援、協力	5月21日	10名	東京湾水先人会から審判長、警戒艇が派遣
(9)ビーチクリーニング活動(秋)の支援、協力	9月9日	10名	鶴沼海岸の清掃ボランティア活動と研修
(10)「鷗童会」絵画展の支援、協力	7/12~18, 1/24~29	12名	支部会員を含む文化活動
(11)「帆船日本丸ガイド」の活動	横浜みなと博物館の休館日 および日本丸の工事・整備日 を除く毎日	669名	帆船日本丸ガイドの会を通じ、帆船日本丸 記念財団に協力
(12)「みなとみどりサポーター」への参加 (港湾局賑わい振興課に協力)	4/12, 5/10, 6/14, 7/12, 8/9 9/13, 10/11, 11/8, 12/13 1/10, 2/14, 3/14	13名	4/12, 6/14, 11/8, 12/13, 1/9 は、雨天や懇親 会の準備のために中止した為、参加者数は半 減した。
合 計		1139名	

## 3、会館の設置及びその運営

事業名	日時・場所	備考
(1)会議室活用 (2)会館の撮影等		例年並み、タグ協会に代わり、浜友会(課の会)が利用 撮影貸出9回、¥453,600-を計上

**平成30年度 横浜支部 支部補給金要望(案)**

## 1. 平成30年度横浜支部予算配布額

科 目	要望額	備 考
福利厚生費	7,000	ネスカフェ エコ&システムパック
講演会費	30,000	講演会4回 会員@5,000x2+非会員@10,000x2
通信運搬費	20,000	切手はがき(電話FAXは本部処理)
会議費	140,000	総会・委員会のお茶代等
旅費交通費	65,000	支部長、常任委員長、事務室長
消耗品費	50,000	
修繕費	30,000	
新聞図書費	40,000	神奈川新聞購読料
光熱水料	0	本部処理
清掃費	0	本部契約
事務機器修繕費	30,000	
渉外費	30,000	練習船に花束贈呈、地域団体との折衝
雑費(含慶弔費)	40,000	ゴミ袋、カバー洗濯
合 計	482,000	
前年配布額	522,000	
対前年度額	-40,000	

## 2 平成30年度本部勘定予算額

科 目	金 額	
PC及び複合機リース	444,909	
通信運搬費	180,000	セキュリティ、保守整備費
会館運営費	800,000	光熱水料、掃除費、共有部消耗品
会館管理費	700,000	セキュリティ、保守整備費など
税他・借地料	2,500,000	
給与	2,621,340	
合計	7,246,249	
平成28年度概算		
対前年度額	7,246,249	

# 平成30年度 海洋会横浜支部 事業計画書(案)

## 海洋会横浜支部

昨年、ボランティア活動が事業の中に加えられた海洋会定款に基づき事業計画表のとおり計画する。  
その主要事項は以下のとおり。

横浜港には、2016年4月1日に航海訓練所(5隻)を統合し、海技大学校(1校)、海上技術短期大学校(3校)、海上技術学校(4校)を運営する「独立行政法人 海技教育機構」、重要文化財に指定され保存展示される、日本丸一世と横浜みなと博物館を管理する「公益財団法人 帆船日本丸記念財団」等が置かれ、海事教育及び海事思想普及の最重要拠点となっている。 加えて、1600余名の海洋会員が勤務又は居住するも、外航海運に従事する日本人船員の壊滅と海洋会会員の高齢化で、その活動の参加者が激減している。

そこで、水先人会や海運関係並びに関連団体や海事教育機関等との連携を図りながら、退役高齢会員と現役会員の交流と親睦を深める活動をめざして、平成30年度事業を展開する。

1. 支部ボランティア活動として「帆船日本丸ガイドの会」、「鶴沼ビーチクリーニング活動」、「みなとみどりサポーター活動」等への参加。
2. 支部主催講演会(会員の調査研究、海事関連有識者等の講演等)を4回程度開催
3. 支部会員及び近隣海事団体の親睦を目指し、春及び秋の懇親会、忘年会、夕刻開催の新年会を正午開催の賀詞交換会として、高齢及び現役両会員参加の容易化を図る。
4. 横浜市の歴史的建造物に指定されている海洋会館の維持・活用事業の活発化  
他関連団体に、会議室利用を促し、会館の撮影などに協力し、利用回数の増加を図る。  
また、不具合事項を大成建設に相談し、横浜市都市デザイン室と協議し、雨漏りや外壁の割れなどの不具合箇所の是正を行う。

## 平成30年度 横浜支部 事業計画表 (案)

横浜支部に於いて;

- 1、開催する会議等
- 2、実施する主要行事とその概要(講演会、海事思想普及、他団体との共催事業等)
- 3、会館運営及びその他特記事項 に関し、以下の通り実施する。

## 1、横浜支部に於いて開催予定の会議、会合行事

会 名	開催日	出席会員	備 考(来賓、同行者等)
(1)支部監査 (1回)	4月4日	名	
(2)定期総会 (1回)	5月8日	名	
(3)春季懇親会 (1回)	5月8日	名	
(4)秋季懇親会 (1回)	11月13日	名	
(5)常任委員会 (6回)	4月10日、6月12日、9月11日 11月13日、2月12日、3月12日	名	
(6)支部委員会 (6回)	4月10日、6月12日、9月11日 11月13日、2月12日、3月12日	名	
(7)会館運営委員会 (常任委員会と合同)	4月10日、6月12日、9月11日 11月13日、2月12日、3月12日	名	
(8)忘年会 (1回)	12月11日	名	
(9)賀詞交換会 (1回)	1月8日	名	
合 計		0 名	

## 2、横浜支部に於いて計画、実施したい事業項目、及びその概要(注記)

支援事業名 及び 活動	実施日又は回数	参加者数	備 考
(1)『海の日』前夜祭の共催	7月13日	名	三団体(海洋会、若葉会、海福協)の共催
(2)講演会の開催	4/10, 6/12, 9/11, 11/13	名	4回を予定
(3)浜水会の支援、協力	8月初旬	名	
(4)練習船遠洋航海出航式への参加	12月9日	名	日本丸
(5)マリクラブ納涼会の支援	8月下旬	名	関係団体等との交流、懇親
(6)マリクラブ X'mas パーティーの支援	12月中旬	名	〃
(7)ビーチクリーニング活動(春)	4月下旬	名	鶴沼海岸の清掃ボランティア活動並びに研修
(8)横浜港カッターレースの支援、協力	5月下旬	名	レースの主催に協力、東京湾水先人会
(9)ビーチクリーニング活動(秋)	9月中旬	名	鶴沼海岸の清掃ボランティア活動並びに研修
(10)「鷗童会」絵画展の支援、協力	7月中旬、1月中旬	名	支部会員を主体とした文化活動
(11)「帆船日本丸ガイドの会」の活動	横浜みなと博物館の 休館日および日本丸の	名	帆船日本丸記念財団に協力
(12)「みなとみどりサポーター」への参加 (港湾局賑わい振興課に協力)	4/10, 5/8, 6/12, 7/10, 8/14 9/11, 10/9, 11/13, 12/11 1/8, 2/12, 3/12	名	
合 計		0 名	

## 3、その他特記事項

事業名	場所	参加者数	その他
女子会員を主体とした懇親会の開催支 会議室の有効活用	3階会議室 3階会議室		検討中 海事技術史研究会・海福協講演会を誘致

一般社団法人 海洋会横浜支部(平成30年度)役員・委員候補(案)

役員 5名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先 / 活動先	会員番号
1	支部長	T N 14	河原 健		13904
2	相談役	清 N 2	栗原 恒夫		09745
3	"	T N 8	安田 岩男	日本丸	12498
4	"	T N 14	斎藤 徹郎	東京湾水先人会	15788
5	顧問	清 E 2	川崎 景章		16356

常任委員 15名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先 / 活動先	会員番号
6	委員長	T N 18	田島 波留生	郵船クルーズ	14880
7	委員	T E 13	大矢 寿郎	大矢海技士事務所	13686
8	"	T E 15	宮澤 勇夫	日本丸、明治丸	14203
9	"	T N 15	神谷 洋一郎		14134
10	"	T N 16	清原 久和	明治丸、ビーチ	14314
11	"	T N 16	長塚 正敏	東京湾水先人会	14327
12	"	K N 14	田根 一美	日本港湾タグ事業協会	14660
13	"	T N 18	中下 三郎	東京湾水先人会	19556
14	"	T N 21	飯田 敏夫	帆船日本丸記念財団	16315
15	"	T N 23	勝見 平八郎	東京湾水先人会	15314
16	"	K E 26	久門 明人	海技教育機構	23778
17	"	T N 26	今井 明男	(株)タイトコーポレーション	15807
18	"	T E 29	長友 友安	海洋興業(株)	16729
19	"	T E 31	中野 弘隆	ソニー生命保険(株)	21166
20	"	T N 33	飯沼 秀樹	(株)商船三井	17450

監事 2名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先	会員番号
		T N 23	勝見 平八郎	東京湾水先人会	15314
		T N 26	今井 明男	(株)タイトコーポレーション	15807

会館運営委員 6名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先	会員番号
	委員長	T N 18	田島 波留生	郵船クルーズ	14880
	委員	T N 16	長塚 正敏	東京湾水先人会	14327
		T E 17	古市 初夫	日本丸、明治丸	14629
	"	K N 15	筒井 哲	東京湾水先人会	14845
	"	T N 18	中下 三郎	東京湾水先人会	19556
	"	T N 33	飯沼 秀樹	(株)商船三井	17450

活動先

日本丸： 帆船日本丸ガイド  
 明治丸： 明治丸ガイド  
 ビーチ： ビーチクリーニング

支部委員 41 名

NO	役職名	クラス	氏名	勤務先 / 活動先	会員番号
21	支部委員	T N 3	北沢 昌永	日本丸、明治丸、ビーチ	11300
22	"	T N 6	渡部 亨	協栄マリン(株)	11940
23	"	T N 6	大野 隆司		11910
24	"	T N 9	大本 直宏	日本丸	12678
25	"	T E 9	山下 秀夫		12777
26	"	T N 10	林 作治	日本丸、明治丸	12937
27	"	T N 10	宮原 哲		12947
28	"	T N 10	藤野 修二郎		12944
29	"	T N 11	望月 二郎	日本丸、明治丸	13161
30	"	T N 12	富川 康文		13402
31	"	T N 13	福永 昭一		13661
32	"	T N 14	高杉 洋一	日本丸、明治丸	13919
33	"	T E 14	瀬戸 明	日本丸	14115
34	"	T N 15	角田 昌男	日本丸	23780
35	"	K N 12	大西 典一	日本丸	14211
36	"	K N 12	高石 勝	東京湾水先人会	14223
37	"	K N 12	川瀬 正彦	日本丸	24310
38	"	T E 17	古市 初夫	日本丸、明治丸	14629
39	"	K N 14	乾 明夫	東京湾水先人会	14728
40	"	T N 18	古田 幸信	東京湾水先人会	14763
41	"	K N 15	筒井 哲	東京湾水先人会	14845
42	"	K N 16	中植 清		18455
43	"	K E 16	山谷 周二		15172
44	"	K E 16	脇屋 伯英	日本郵船歴史博物館	14970
45	"	T E 22	掛谷 茂	モコスジャパン	21137
46	"	T E 22	光延 秀夫	(一財)日本船舶職員養成協会	15264
47	"	T N 23	井上 一規	東京海洋大学	15309
48	"	K E 20	狭間 満雄	海洋興業(株)	15383
49	"	K N 21	安達 直	東京汽船(株)	15592
50	"	K E 21	引間 俊雄	海技教育機構	15580
51	"	T N 25	奥田 浩一郎	日本郵船(株)	15715
52	"	K E 24	若林 庸夫	神奈川県立海洋科学高校	16265
53	"	T N 28	大村 達也	(株)ダイトコーポレーション	16422
54	"	K N 27	大藤 高広	海技教育機構	15591
55	"	T E 31	飯島 伸雄	海技教育機構	16816
56	"	T N 32	竹内 俊明	(株)国際海事検定社	17138
57	"	T N 32	乾 真	海技教育機構	17127
58	"	T N 35	白石 道也	日本郵船(株)	17999
59	"	T E 38	守屋 健一	(株)第一損害保険センター	18891
60	"	T E 38	垣野 友章	キャリアートランシコルト	18859
61	"	T N 40	飯田 洋司	日本郵船(株)	19654
	総数	61 名			